

空でつながる和歌山の魅力
Wakayama's story
about the sky Possibility



和歌山ロケット応援団が定期的に行う清掃活動。「見学に来る人を気持ち良く迎えられるように」との思いが込められている。

ロケットや宇宙をより身近に、
多様に展開する関連事業



⑤ 旧古座分庁舎をリノベーションし、紀南の地域住民やビジネスパーソンが利用できるワークスペース、ロケットに関する体験型コンテンツやロケットの発射映像を視聴できる8K臨場感シアターなど様々な準備を進めている。⑥ 昨年実施された「ロケット土産」を一堂に集めた展示商談会の様子。町が制作したロゴマーク、小山宙哉さんによる人気漫画『宇宙兄弟』とコラボしたTシャツや雑貨、菓子など56点以上が集まった。

古座サテライトオフィス

住所/東牟婁郡串本町西向359 電話/0735-67-7004

本州最南端の町・串本町にある日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」。その建設工事が完了し、第一号機の打ち上げが待たれている。パブリックビューイングは田原海水浴場と旧浦神小学校の2カ所。山を隔てては、あるが、発射場から田原海水浴場までは、直線距離でおよそ2キロ。発射後、6秒ほど遅れて感じるのは爆音ではなく、山を揺るがす空気の振動だろう。

宇宙に最も近くなる
和歌山の可能性

① ロケットの打ち上げ地には、引力を有効活用できる赤道に近い場所が選ばれる。串本町は本州最南端という地理的条件、部品の運搬もしやすいという立地条件にも優れていた。② パブリックビューイングの会場となった田原海水浴場。ワークショップで使うモデルロケットを手に、実際のロケットの軌道を説明する青木さん。③ 完成した総合指令棟の施設内。④ 小さいながらも燃料(火薬)で高度80メートルまで上昇することができる。

一般社団法人 南紀串本観光協会

住所/東牟婁郡串本町串本33 電話/0735-62-3171

